

## ホモ・ルーデンス、来たれ

学長 渡辺 信一郎

「われわれは自分自身のことをいろいろな名前で呼んでいる。ホモ・サピエンス（賢い人）、ホモ・ハピリス（能力のある人、道具を使う人）、そしてたぶん最も適した名前ホモ・ルーデンス（遊戯人）である。どの側面もそれぞれ科学に寄与している。というのは、われわれの探究は三つの側面、すなわちあまり明るくない小道を選ぶ賢さ、答えを見つける技術、そしていつもいつも表面下にあるけれども遊戯性、という三つの側面に依存するからである。アインシュタインは、われわれの理解をほとんど超えた知識と技術の持ち主であり、根本では最大限自由に遊ぶことのできた人間であるが、その彼が、『理論は人知の自由な発明である』と言った。／人類のもっとも貴重な創造性の核心を言い表しているのは、ホモ・ルーデンスの科学である」（『自己組織化と進化の論理』筑摩学芸文庫版 259頁）。



現代の知の最先端をゆくひとり、スチュアート・カウフマンの言葉である。科学・学術の創造性にとって、知恵・知識や知的技術・方法よりも、自由に遊ぶことのできる人間が根底的に重要であると言う。ダーウィン以来の突然変異と自然淘汰による進化論に異を唱え、複雑系と自己組織化による進化の理論を提起したカウフマンの言葉であるだけに、重みのある人間論・学問論である。

ホモ・ルーデンスを提唱したのは、実は名著『中世の秋』で知られるオランダの文化史家ヨーハン・ホイジンガ（1872～1945）である。かれは、別に各国語に翻訳されて多くの読者をもつ『ホモ・ルーデンス』を著した。ホイジンガによれば、「遊び」とは、子供の遊戯をみればわかるように、「まじめ」を前提とする日常生活とは別の、定められた時間と空間のなかで自発的に受け入れられたルールに従う自発的行為である。ホイジンガは、学問をはじめ、スポーツ・芸術・哲学から法律・裁判制度、はては戦争にいたるまで、人間の諸文化が「遊び」をその本質とすることを明らかにした。そうして、「まじめ」にかたむき、「遊び」の精神を失って、崩壊しかねない現代文明の批判を試みている。

「遊び」の精神とは、すこし乱暴にいいかえれば、好奇心であろう。大学が養うべき学力は、知識や知的技術にくわえて、好奇心という「遊び」の精神に裏打ちされなければ創造性を欠くものとなるにちがいない。府立大学には、小さいながら人文・社会・自然にかかわる三つの学部があり、「遊び」の世界が網羅されている。教員には、ホモ・ルーデンスに分類され、非日常の世界に「遊ぶ」自由が多い。受験生の皆さんが本学に入学し、ホモ・ルーデンスの一員として、ともに「遊び」あえることを期待したい。

### 目次

学長挨拶	1	入試科目別アドバイス	
入試特集		英語・国語	12
本号の構成と利用ガイド	2	日本史・世界史	13
入学試験日程・募集人員	2	生物・化学	14
文学部		物理・数学	15
学部長からのメッセージ	3	就職活動支援	16
各学科紹介	4	キャリアサポートセンター紹介	17
平成23年度入学者の状況	4	キャンパスライフ	
公共政策学部		在学生の声	18
学部長からのメッセージ	6	クラブ・サークル紹介	19
平成23年度入学者の状況	6	新入生歓迎夜祭 開催	20
各学科紹介	7	トピックス	20
生命環境学部		卒業生の声	21
学部長からのメッセージ	8	ニューフェース	23
平成23年度入学者の状況	8	イベント情報	23
各学科紹介	9	教員奮闘記	24

# 入試特集

京都府立大学広報委員会

この冊子は、主として京都府立大学を受験しようと考えている受験生の皆様に読んで頂くことを念頭に置いて編集されています。受験生の皆様にとって必要な情報を、できるだけ簡潔・的確に、かつ親しみやすい形で提供できるように、全学部学科の関係教員がアイデアを絞り、手作りで作成しました。入試に直接関わる情報に始まって、在学生からのメッセージ、キャンパスライフ、卒業生の声など、多彩な内容になっています。ぜひ最後の頁まで読んでみてください。少しでも皆様のお役に立つことができれば幸いです。

## 本号の構成と利用ガイド

本号は入試に関する部分とそれ以外の関連記事の2つの部分から構成されています。  
ただし、科目別記事は予想問題ではありませんので、あくまでも参考資料としてご利用下さい。

## ■入試関係の情報■

学部学科の紹介、各種入試情報を掲載しています。一般入試（前期・後期）に関しては、センター試験と二次試験との合計点などが示されています。学科によって、センター試験と二次試験それぞれの試験科目と配点とが異なる場合がありますので、ご注意ください。また、推薦入試もあります。

## ■大学生活■

入学後の大学生活についてご案内する部分です。在学生からは、これから入学してくる後輩へのメッセージやアドバイスが寄せられています。その他、クラブ・サークル活動の紹介、就職活動支援や就職状況、キャリアサポートセンターの紹介、卒業生の声、等が紹介されています。京都府立大学でのキャンパスライフに、一足先に触れてみてはいかがでしょうか。

## ◇入学試験日程

出願資格選抜方法等、詳細は学務課入試担当（Tel 075-703-5144）へお問い合わせください。

### 一般選抜

- |   |                   |                       |
|---|-------------------|-----------------------|
| 1 | 出願期間（第2次試験願書受付期間） | 平成24年1月23日（月）～2月1日（水） |
| 2 | 第2次試験の実施日         | 前期日程試験 平成24年2月25日（土）  |
|   |                   | 後期日程試験 平成24年3月12日（月）  |
| 3 | 合格発表日             | 前期日程試験 平成24年3月7日（水）   |
|   |                   | 後期日程試験 平成24年3月23日（金）  |

### 推薦入試

- |   |        |                        |
|---|--------|------------------------|
| 1 | 願書受付期間 | 平成23年11月1日（火）～11月9日（水） |
| 2 | 試験実施日  | 平成23年11月26日（土）         |
| 3 | 合格発表日  | 平成23年12月9日（金）          |

なお、入試に関する詳細は、必ず「選抜要項」で確認するようにしてください。

# 文学部

## 学部長からのメッセージ

文学部長 榎木 謙周

文学部では、「ことば」とそれをもとにした人類のさまざまな文化的な営みについて、語学、文学、歴史学などの学問領域からアプローチする教育・研究を行っています。

日本・中国文学科では日本語学・日本文学・中国文学、欧米言語文化学科ではイギリス・アメリカ・ドイツなどの言語や文学・文化を学ぶことができます。また、前者には和漢比較文学と京都文学・京都文化学、後者には日英翻訳文化などのユニークな分野も設けられています。歴史学科では、日本史・日本文化史、東洋史・東洋文化史、西洋史・西洋文化史、文化遺産学（考古学・歴史地理学・文化情報学など）のコースが準備されています。さらに、学科の枠を越えて履修できる「京都文化学コース」「英語コミュニケーション・プログラム」「文化遺産学プログラム」などがあり、自分の専攻する分野以外にも系統的な学習ができます。

いずれの学科においても、多彩な講義のほかに、少人数の演習が開講されています。そこでは、文学作品・研究文献・史資料などを徹底的に読み込んで論を鍛え、最終的に卒業論文を書くことができるように指導しています。

長らく日本の首都であった京都では、文学や歴史に関する重要な文献・史料、その他の文化遺産に、まわりの環境とともに親しみをもって接することができます。また、国際的に開かれた都市として、文化の発信拠点となることも期待されています。

現在、文学部研究室・演習室等と附属図書館、京都府立総合資料館を一体化した建物の建設準備が進められています。そこに置かれる予定の国際京都学センターは、グローバルな視野から京都に関する共同研究などを行い、その成果を府民をはじめとして広く世界に公開する役割が求められています。地域社会や世界に貢献することが、翻っては本学の教育や研究にもプラスになるという相乗効果を期待したいと思います。



## 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員 (人)				合 計
		一 般 選 抜		推 薦 入 試		
		前 期 日 程	後 期 日 程	府 内	全 国	
文 学 部	日本・中国文学科	20	4	6	—	30
	欧米言語文化学科	18	4	8	—	30
	歴 史 学 科	25	7	8	—	40
公 共 政 策 学 部	公 共 政 策 学 科	30	8	10	2	50
	福 祉 社 会 学 科	30	8	10	2	50
生 命 環 境 学 部	生 命 分 子 化 学 科	20	5	3	3	31
	農 学 生 命 科 学 科	28	6	* 7	* 7	48
	食 保 健 学 科	18	—	7	—	25
	環 境 ・ 情 報 科 学 科	20	—	5	—	25
	環 境 デ ザ イン 学 科	25	5	10	—	40
	森 林 科 学 科	20	6	* 6	3	35

(注) \*は、特別枠1を含む

# 各 学 科 紹 介

## 日本・中国文学科

日本・中国文学科の一番大きな特徴は、日本と中国の文学や語学に関するあらゆることが自由に学べることです。日本と中国、それぞれを徹底的に深く探究していくとともに、お互いに深く関連していることも追究していきます。高校までは現代文・古文・漢文と科目が分かれています。本学科ではそうした分け隔てがなく、それらが渾然一体となった、大きな文学の世界、ことばの世界として皆さんの前に展開します。

例えば『源氏物語』には、中国の詩人白楽天の「長恨歌」の表現やそこに詠われた玄宗皇帝と楊貴妃の悲劇の物語が様々な形で取り入れられていることがわかります。また『水滸伝』などの中国の小説が、江戸時代の『南総里見八犬伝』などの小説に大きな影響を与えているばかりか、それら中国の小説で用い

られる言葉が次第に日本でも定着し、現代語にまで続いている例にも気づきます。さらに、交流協定を結んでいる中国の西安（長安）にある西安外国語大学から教員を招き、本格的に中国語を学べる環境も整えています。そのようななかで、「勉強」という熟語が日本と中国とで意味が違うといった新鮮な驚きも味わえるでしょう。

このように日本語・日本文学と中国語・中国文学との垣根を取り払い、それぞれの独自性と相互の関連性を追究していく研究方法は、学界からも高く評価されています。

本学科のもう一つの大きな特徴は、京都文化・京都文学の学びです。日本の古典文学はそのまま京都文学と言えるほどに、京都は文学の中心でした。そこで育まれた茶道や華道などの文化や、能・狂言、歌舞伎・文楽などの芸能も、文学とともに京都の魅力を形作ってきた重要な存在です。それら京都文化・京都文学を学ぶ分野を充実させながら、京都府民はもとより全国、そして世界に向けて京都の魅力を発信する活動を続けています。

本学科の教員はみな熱心な指導で、学生からの評判も上々です。学生同士も上級生と下級生の隔てがなく、みな和気藹々と勉強に、部活に、就活に取り組んでいます。受験生の皆さんも是非本学科の仲間になることを目指してがんばってください。ともに学びましょう。



長浜・彦根への新入生合宿研修旅行（長浜城にて）

## 平成23年度入学者の状況

学部	学 科	日程	募集人員 人	志願者数 人	受験者数 人	合格者数 人	入学者数 人	競 争 率 倍
文	日本・中国文学科	前期	20	110	97	25	22	3.9
		後期	4	63	37	4	2	9.3
		推薦	6	21	21	7	7	3.0
学	欧米言語文化学科	前期	18	108	97	26	20	3.7
		後期	4	115	66	4	3	16.5
		推薦	8	48	48	9	9	5.3
部	歴 史 学 科 *	前期	25	174	153	30	24	5.1
		後期	7	99	53	13	9	4.1
		推薦	6	20	20	7	7	2.9
		AO	2	5	5	1	1	5.0

(注) \*歴史学科のAO入試は平成24年度入試より廃止されます。



## 欧米言語文化学科

欧米言語文化学科は、コトバを学び、コトバを通して文化を学ぶところです。また、コトバの仕組みや、コトバを別のコトバに移すときの問題を考えるとこ

ろです。欧米言語文化学科でもに扱っているのは、英語とドイツ語です。イギリス映画やアメリカ音楽を楽しみながら、イギリスの歴史やアメリカの社会について、考えたり発表したりします。また、映画や小説を通して、ドイツ・オーストリアの歴史や思想などについて学びます。

欧米言語文化学科では、コトバそのものを学ぶこともできます。新しくドイツ語がフランス語を学ぶほか、英語の仕組みや、世界中のさまざまな英語について勉強できます。

また、コトバを比較して翻訳の問題を考えたり、文化の違いについて考えてみる授業もあります。そして、京都を中心とする日本の文化を欧米の文化と比較すると何が見えてくるか、そういうことを考えて発表する授業もあります。

欧米言語文化学科には、ほかにも、英語・ドイツ語のスピーキングやリスニング、ライティングの授業がいくつもあります。映画を見たり、音楽を聴いたりするだけでなく、たくさん本を読んだり、いろんなテーマで発表したり、ビデオを撮って英語でナレーションをつけたり、いろんな体験ができる授業があります。授業として、ドイツの大学でドイツ語を学ぶサマーコース・プログラムがあります。

英語やドイツ語を学び、欧米の文化を学ぶ。欧米の文化を学んで、日本・京都の文化を見直す。いろんな英語や英語の仕組みを知って、英語をもっと使えるようになる。それが欧米言語文化学科です。

付け加えると、コトバとは、人間が持っている最高の能力で、最大の財産だと言われています。ということは、欧米言語文化学科でみなさんは、人間の一番すばらしいところについて考え、自分の最高の能力を生かせるようになるのです。私たちと一緒に、楽しく、真剣に、コトバを学び、コトバから学びに来てください。



## 歴史学科

歴史学科では、古代から現代まで日本、東洋、西洋の政治、経済、思想、文化など、さまざまな分野についての歴史を研究しており、扱う文献も多岐にわたります。それに加えて、文化遺産を対象として考古学、歴史地理学、文化情報学などの方法による研究も進めており、幅広い歴史事象を扱うことが可能になっています。したがって、学生は、入学後にそれぞれの関心に従って専門的な史料の読解力を身につけ、あるいは考古学や地理学の方法をマスターして、オリジナリティの高い卒業論文の作成に結実させていきます。

本学科は、最初からそれぞれの専門分野に分かれるのではなく、幅広く歴史の勉強ができるようになっていることが特徴であり、その結果として、より高い視野から歴史、そして現代社会を見渡すことができるようになっています。また、学外での研修活動も活発で、史料整理や考古学調査、地理学調査などを頻繁におこなっており、実際に地域の中から歴史を考えるという経験を積むこともできます。

京都という歴史と関わりの深い場に立地しているので、全国から学生が集まってきており、また専門分野の垣根が低いことから、学生の交流は活発におこなわれています。このような環境は、歴史を広く深く学ぶためにたいへん重要だと思います。教員との距離も近く、調査や合宿などを通して、研究の切り羽を直接感じることができるでしょう。

卒業後は大学院に進学する学生も多く、その後に学芸員などの専門職に就職する者も少なくありません。また、公務員や教員、あるいは出版業界などで歴史の知識を活かして仕事をしている卒業生も数多くいます。

歴史学科への志望動機としては、歴史が好きということがまずあるかもしれません。しかし、学問として歴史を追求することには、さまざまな苦労があることも事実です。その苦労を経て体得した歴史をみる見方こそ、実社会を生き抜く力となることはまちがいありません。皆さん、歴史学に身を委ねて高く飛翔してみませんか。



大津での新入生合宿研修旅行（膳所城にて）

# 公共政策学部

## 学部長からのメッセージ

公共政策学部長 小沢 修司

私たちの学部は「福祉社会をめざし公共政策を拓く」という理念を掲げていますが、この理念は、100年に一度と言われる世界同時不況や金融危機が進行し、雇用や暮らしが破壊され、先行き不透明な社会システムの中で閉塞感が広がる今日にあって、ますます真価が求められてきていると実感しています。そして、3月11日に起こった東日本大震災。これまでとは全く違った東北、日本の新しい社会ビジョンの提示が私たちに求められています。人々の幸せ・福祉を実現する社会を、従来の「常識」や「通念」にとらわれず、「新しい公共」のあり方を探りいろいろな人々との協働の取り組みとして実現していくことが必要とされているのではないのでしょうか。



公共政策学部は、社会科学系と福祉系・人間系の2つの学科から構成されています。

公共政策学科は、住み良い地域や社会を作ろうという国や地方の公務員、NPO・NGO、社会貢献を行う民間企業で働く人材、より高い政策立案能力や問題発見・解決能力を持った人材を養成します。未来志向型の「公共政策」を切りひらきます。

福祉社会学科は、福祉や医療の現場で働くソーシャルワーカー、家庭裁判所調査官・法務教官などの国家公務員や民間の福祉・生涯学習・教育・相談援助の仕事に就く人材など地域における人間形成の担い手を養成します。

いずれの学科でも、1回生から4回生に至るまで演習科目を配置し、対話・討論する力などいろいろな人々との協働を創り上げる力を身につけます。また、それぞれの学科での特徴ある学び以外にも、学科の枠を超えてより柔軟に幅広く問題意識に添った学びができる工夫（副専攻制度）も準備しています。公務員試験や社会福祉士の合格率で他大学に優れる実績を誇っている本学部ですが、これからの日本を担う未来を志向した諸君を応援します。



映画を教材に 社会福祉概論 上掛教授



要点を押さえつつ… 環境経済学 川勝准教授

## 平成23年度入学者の状況

学部	学 科	日程	募集人員 人	志願者数 人	受験者数 人	合格者数 人	入学者数 人	競争率 倍
公共政策学部	公共政策学科	前期	30	152	143	38	32	3.8
		後期	8	110	59	10	8	5.9
		推薦	12	40	40	13	13	3.1
	福祉社会学科	前期	30	104	101	35	34	2.9
		後期	8	94	47	9	9	5.2
		推薦	12	24	24	12	12	2.0

# 各 学 科 紹 介

## 公共政策学科

公共政策とは、「民間部門では解決できない社会の課題に対して、政府・地方自治体などが主体となり、人々の福祉を増進させるために立案される政策や計画など」を意味します。さらに近年では、NPO(非営利団体)など、人々の自主的活動を基盤とする団体も、公共政策の主体として注目されています。だからといって、民間企業等に就職を考えている人にとっても縁遠いことでは決してありません。

実際、私たちの日常の暮らしや経済活動を振り返ってみても、民間部門がになう事業であっても、何らかの公共的規制や政策と無関係なものはないといってよいでしょう。日本の基幹産業である自動車産業の存立が、公共政策として大量の道路が建設されることと不可分であることなどが、その一例といえます。



熱心に聞き入る受講生

したがって本学科では、政府や地方公共団体だけでなく、個人や企業、民間団体なども参画していくことができる公共政策を立案できる人材の育成をめざしています。そのために、まず、公共政策の基礎となる経済学、法律学、政治学など基本的な学問をしっかりと身につけていただきます。さらに、4年間にわたり充実した演習科目を配置していること、そして京都府、京都府内外の市町村、NPOなどと連携して、政策形成の現場を体験していただくための「公共政策実習Ⅰ」および「公共政策実習Ⅱ」を設けていることも、本学科の重要な特徴となっています。

## 福祉社会学科

本学科は、福祉社会の実現をめざし、研究・教育を通じて、そのための道筋や条件を明らかにするとともに、それを実践的に担う専門的な人材を養成する学科です。

研究・教育の基盤となる学問領域は、社会福祉学、社会学、教育学、心理学などであり、これらの学問の問題意識・方法・成果に学びながら、福祉社会の具体像とそれに至るための課題を明らかにしていきます。

卒業生の進路の特徴は、社会福祉や医療の現場で活躍するソーシャルワーカー、家庭裁判所調査官、法務教官、保護観察官など更正保護と総称される分野の職員、児童相談所や児童福祉関連施設の職員、学校教員および社会教育・生涯学習関連施設の職員など、専門性をもった職業が多いことです。

もちろん大学院へ進み、より高度な専門的能力を身につける人々、またそれぞれの学問分野の研究能力を高めて研究者としての道を歩む人々もいます。

本学科には全国から、人間の福祉や社会連帯のあり方について、人間形成と発達・心理・教育の関係について、地域と社会の現実的問題の解決についてなど、多様な問題関心をもった、個性的で優秀な人々が集まっています。

1回生の入門演習から始まって、卒業論文の完成に至るまで、学習・研究の中心はゼミです。また進路に応じて、社会福祉実習、教育実習など、様々な実習や現場体験、社会体験が用意されています。

自然に恵まれ、わが国を代表する歴史的文化に囲まれた洛北の地で、妥協なく学問に励もうではありませんか。



熱演 地域福祉論 高原教授



# 生命環境学部

## 学部長からのメッセージ

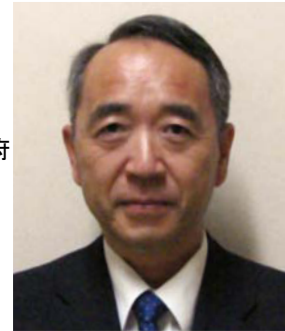
生命環境学部長 田中 和博

グローバル化（Glocalization）という言葉があります。全世界に普遍化しているようにするGlobalizationと、地域の特性を活かしているようにするLocalizationの2つの言葉を組み合わせたものです。文明によってもたらされた様々な技術を応用しようとする、各地域固有の特性に配慮する必要があり、それが、文化へとつながっていきます。Think globally, act locallyの考え方が必要になります。京都府立大学生命環境学部は、グローバルな視点から「生命」と「環境」について基礎から応用までを一貫教育する体制を整えています。

「生命」と「環境」は相互に作用しあう関係にあります。今や人類の活動規模が大きくなりすぎて環境に及ぼす影響が至る所で問題になっています。人類の生活や生存に関する諸課題として、地球温暖化、生物多様性の減少、動物の感染症、自然災害、バイオエネルギー、食料自給、遺伝子組換え、食の安心・安全、食と健康、ナノテクノロジー、エコライフ、情報技術、地域社会の持続的・内発的な発展などをあげることができますが、いずれも生命環境学部が教育・研究課題として取り扱っている領域です。

生命環境学部は生命分子化学、農学生命科学、食保健学、環境・情報科学、環境デザイン学、森林科学の6学科で構成され、生命現象の解明と応用、食と健康、食料の持続的生産、安全性や食育について学べます。また、健康的・文化的な生活を支える住まいと建築、都市と地域、さらに森林を始めとする自然環境から地球環境について学ぶとともに、関連する情報を解析し応用するための知識と技術を習得することができます。

生命環境学部は実験・実習を多く取り入れた体系的なカリキュラムを提供するとともに、少人数教育の特色を活かして、「世界に通用する専門能力と技術力」「課題解決の道筋を見いだす能力」「広い視野と柔軟な思考力」をもつ学生の育成に努めています。



## 平成23年度入学者の状況

学部	学 科	日程	募集人員 人	志願者数 人	受験者数 人	合格者数 人	入学者数 人	競 争 率 倍
生 命 環 境 学 部	生 命 分 子 化 学 科	前期	20	75	73	26	24	2.8
		後期	5	25	25	8	6	3.1
		推薦	6	22	22	6	6	3.7
	農 学 生 命 科 学 科	前期	28	95	93	34	33	2.7
		後期	6	30	30	6	4	5.0
		推薦	14	59	59	15	15	3.9
食 保 健 学 科 *	前期	18	72	71	20	20	3.6	
	推薦	5	14	14	5	5	2.8	
	A O	2	7	7	2	2	3.5	
環 境 ・ 情 報 科 学 科	前期	20	48	46	22	21	2.1	
	推薦	5	12	12	6	6	2.0	
環 境 デ ザ イ ン 学 科	前期	25	78	76	28	25	2.7	
	後期	5	25	17	7	5	2.4	
	推薦	10	27	27	10	10	2.7	
	留学	0	1	1	1	1	0.0	
森 林 科 学 科	前期	20	67	66	26	26	2.5	
	後期	6	30	30	6	5	5.0	
	推薦	9	26	26	10	10	2.6	

(注) \* 食保健学科のAO入試は平成24年度入試より廃止されます。



# 各 学 科 紹 介

## 生命分子化学科

生命分子化学科は7つの研究室（機能分子設計化学、機能分子合成化学、生命分析化学、生命物理化学、細胞高分子化学、生体物質化学、微生物機能化学）から構成されています。これらの研究室は「化学」に重点をおき、生命現象の解明、機能性物質や有用物質の合成、環境分析などに取り組んでいます。

君たちが入学した後は、実習として1回生で、化学、物理学、生物学の実験を行い、基礎的な知識・技術を習得します。次いで、2～3回生でより高度な内容（マイクロデバイス作成、酵素の活性測定、有用微生物の培養、DNAの単離、有機金属試薬による合成、河川の全窒素の定量、タンパク質の化学修飾など）を学びます。もちろん、実習だけではありません。授業でも教養科目から専門科目まで様々な講義を受け、知識と理解を深めていきます。3回生後期に研究室に配属され、研究生活が始まります。生命分子化学科には学生募集人員31名に対して教員は12名もいます（平成23年4月現在）。高校までは既に答えのある問いに対して、正確に解を導くことを中心に勉強してきました。それに対し、大学の研究は答えが判っていません。教員が、答えや解き方を知っているとは限りません。君たちが大学で獲得する科学的知識や論理的な思考の基に行う膨大な研究の末に、ようやく答えが導かれることが多いのです。このような研究室での活動を通じて個々の知識と技術の向上を図るのはもちろんのこと、タフな精神力と社会人として世に出るモラルと常識を身につけることができます。

また大学時代の友人は一生の財産になります。生命分子化学科では授業、実験だけではなく、新入生合宿ゼミ、鴨叡会（学科の教員、大学院生、学部生の親睦会）など縦横のつながりを広げる場もあります。気合の入った元気の君たちの入学を待っています。



学科合同花見 -2011

## 農学生命科学科

「豊かな環境共生社会の創造——環境に負荷をかけない、安心・安全な食料生産を目指して——」を教育研究の指針として、生物多様性を活かした持続可能な食料生産技術及び生物機能の高度利用、さらにそれらの社会経済的側面を総合的に教育・研究しています。具体的には、動植物の新たな機能の開発と効率的な物質生産、作物栽培や家畜飼育に関する新しい技術の開発、作物保護、動物衛生、環境保全・修復、農村政策や農業経営等についての理解を深め、新しい農学とそれに関連した生命科学分野に対応できる幅広い人材を育成するために、植物生産科学コース（7専攻科目）及び生物機能科学コース（6専攻科目）の2コースを設けています。

生命環境学部附属農場や京都府の生物資源研究センター、昆虫飼育室等の充実した教育・研究施設を活用して、植物生産科学や生物機能科学に関連する様々な実験、生物生産科学の諸実習、農業経営学の演習が行われています。これにより微生物、昆虫、植物、動物の遺伝子からエコシステム、農村地域の経営や政策までをカバーする幅広い知識から生まれる総合力を養い、食料・環境・生命について深く学ぶと同時に、教員一人当りでみた学生の少人数教育により、率直な意見交換と家族的雰囲気を持ち味とした研究室運営がなされています。



今年の新生は雨の中での田植えをしました。

また、定められた単位を修得すれば、中学校教員免許（理科）、高校教員免許（理科、農業）や学芸員資格が取得できます。

## 食保健学科

食保健学科の特色は、国民の健康の保持・増進、傷病者の栄養管理、生活の質の向上という視点から食物と食生活を取り巻く問題を総合的にとらえ、望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明するための教育研究を行っていることです。従来の食物学の領域で取り組まれてきた教育研究の分野に加えて、新たに人間を対象とするフィールド科学の手法を取り入れ、公衆レベルでの栄養・健康問題にアプローチする分野を導入し、「食物」から「健康」と「環境」へと発展させてきました。

本学科は食品科学、食品安全性学、食事学、栄養学、健康科学の5分野（研究室）で構成され、各研究室が独自の研究を進めながら、相互に連携して「食」と「健康」の関わりを総合的に教育研究できる体制を構築してきました。さらに、特色ある人材（管理栄養士など）を世に送り出すため、臨床や医療関連分野の教育の充実を図るため、京都府及び京都府立医科大学との連携に力点を置いた教育指導を行っています。

このことにより、人体の構造と機能、食べ物と健康等の基礎知識を十分に理解した上で、傷病者を対象とした療養や広い視野で個々人の身体状況、栄養状態に応じた高度の専門知識及び技術を要する健康の保持増進のための栄養指導ができる能力をもった下記に挙げる人材の養成を行っています。



新入生合宿研修 賢島ビューホテル前にて

- ① 傷病者に対する療養のために必要な栄養計画作成と栄養管理ができる人材（管理栄養士）
- ② 地域や学校等における保健管理システムの中で、総合的に栄養関連サービスのマネジメントができる人材（管理栄養士／栄養教諭）
- ③ 新しい食品開発や食の安全管理を行うことができる人材（管理栄養士）
- ④ 学校、地域、職域における食育指導のできる人材（栄養教諭など）
- ⑤ 食糧の生産から消費に至るまでを総合的に理解した人材

## 環境・情報科学科

現在社会が直面する、「高度情報化」、「環境問題」や「生命現象」にかかわる課題を解決していくためには、自然科学の基礎である数学、物理学、化学、生物学の知識はもちろんのこと、それぞれの学問領域にまたがった知識が必要となります。急速な技術革新に対応し、イノベーションを先導して行く人材として先端科学技術についての学際的な知識を持つ「広い視野を持った理工系スペシャリスト」が必要とされます。

環境・情報科学科では、主・副コース制により、そのような学際的な能力を備えた人材を育成します。2回生から生物、物理、化学、情報、数学の5つの主コースの一つを選択し専門的な勉学を深めるとともに、副コース（学際副コース）では、自分の所属する主コース以外の科目を広く学習することができます。また、教育課程の中で、①自然科学の基礎・普遍性と面白さを体得させる、②情報科学の基礎と面白さを体得させる、③プレゼンテーション能力を高める、④英語力を高める、ことに重点を置いて教育を行っています。3回生の後期からは、各研究室に所属し、密度の濃い研究指導を受けることとなります。卒業生の多くは大学院に進学し、より専門的な研究に取り組めます。または、情報処理・システム関係企業、計測機器、化学、医療、食品メーカー、公務員・教員などに就職し、社会で活躍しています。

理工系分野の専門家には、まず好奇心と論理的思考力と表現力が必要です。私たちは、柔軟な発想のもとに思考する創造性豊かな人や、社会に役立つ物質の創成、新しい技術の開発に夢をもっている人を求めます。一般入試では、数学と理科の理解力に判定の重点を置いています。このため、センター試験（600点）に対し、数学と理科の2次試験（800点：数学400、理科400）のウエートを高くした判定を行っています。推薦入試では、テーマ作文を提出していただき、面接試験と共に、論理的思考力と表現力を試験しています。



授業風景



## 環境デザイン学科

環境デザイン学科は、生活環境・生活空間（インテリア・住宅・建築・都市・地域）のデザインに関わる専門家や技術者を養成する学科です。

住居・建築系の専門科目を基盤とし、これと関連の深いランドスケープデザインやプロダクトデザイン、生活文化、循環型社会等に関する専門科目があり、豊富なデザイン実習（設計製図や制作）を通じて、生活者の視点から、総合的、科学的に生活環境・生活空間を調べ、その仕組みや課題を考え、あるべき姿を構想し、提案する力を育成します。

本学科には、住環境・建築コースと生活デザイン・ランドスケープコースという2つのコースがあります。住環境・建築コースでは、住宅・建築・都市・地域に広がる住環境全体を視野に入れ、その改善や創造を担う人材を養成します。一方、生活デザイン・ランドスケープコースでは、生活用品のデザインやランドスケープデザインに関わる研究や制作を通じて、生活の質の向上や、環境と共生する生活様式の創造に寄与する人材を育成します。両コースともに、所定の単位を取得すると、卒業後、2年の実務経験を経て、一級建築士の受験資格を取得できます。

本学科では、少人数であることを活かした密度の高い教育・研究指導を行っています。学部では3年生後期から各研究室に所属し、専門分野の研究を深めます。大学院（前期・後期博士課程）では、さらに専門的な教育・研究を行い、専門家として活躍するために求められる高度な能力を育成します。卒業後は、住宅メーカー、建築・住宅設備、建設会社、設計事務所、都市計画事務所やインテリア、ディスプレイ関連企業、事務機器メーカー、造園、デザイン事務所などへの就職、また、公務員や教員、大学院進学への道があります。



修士研究・卒業研究の作品展示発表会

## 森林科学科

森林は日本の国土の7割近くを占め、私たちの身の回りの自然環境の大部分を作り、様々な機能を持っています。最近では、地球環境保全の観点から、大気中の二酸化炭素を減少させる効果や自然エネルギー源としても重要視されてきています。

森林科学科には、次に示す8つの研究室があり、さらに、実習や研究の場としての700ヘクタールの大学の森（演習林）が設置されています。そこでの教育・研究内容を見ると、まさに森林が持つ多様な機能を反映していることがわかります。教育面については、未知の課題に積極的に取り組む能力を身につけるため、実験や実習を通して、自分で考え、試行錯誤を通して自ら問題を解決する方法を体得するよう努めています。また、実験・実習科目を多く取り入れています。実際に森林を体験することを重視し、森林の調査や研究に必要な技術として、植生調査、測量、計測など学ぶ実習を行っています。また、木質資源の利用に関する基礎技術を修得するための実験も充実させています。森林科学科の定員は1学年35人と少なく、これに対して森林科学科を担当する教員の数は16人ですので、特に専門教育が主体となる3、4年生ではマンツーマンに近い教育を行うことができます。また、実験・実習や卒業論文作成のための研究では、学生同士が助け合い、さらに先輩の大学院生とも交流しながら行うため、学生間のつながりも深まり、卒業後も親交が長く続いています。

その他、森林科学科に関する情報は、森林科学科ホームページもご覧ください。



森林における実習

樹木の分類

1. 森林生理生態学研究室
2. 森林植生学研究室
3. 森林計画学研究室
4. 砂防学研究室
5. 流域情報学研究室
6. 森林資源循環学研究室
7. 生物材料物性学研究室
8. 森林生物資源化学研究室

カリキュラムとして以下の科目があります。

森林生理生態学、森林保護学、森林植生学、森林資源育成学、森林計画学、森林計測学、砂防学、渓流水理学、森林土木学、流域情報学、木材物理学、木材組織学、木材化学、木質資源利用化学、森林資源循環学、物質循環学、測量学、地理情報科学、森林植物学、材料力学、ランドスケープデザイン論、林政学、森林作業システム学、森林水文学、森林機械学、森林科学総合実習、林産学実験および同実験法Ⅰ、Ⅱなど

# 入試科目別 アドバイス

## 一般選抜二次試験

昨年度の入試問題出題者から受験生の皆さんに向けてのコメントを、主な入試科目別に集めました。出題の形式をはじめ、受験生の皆さんに気をつけていただきたいことなどを解説していますので、参考にしてください。

\*以下の文章は主として昨年度までの問題について書かれています。  
今年度の予想問題ではありませんので注意してください。

### ▶ 英 語

文学部

公共政策学部

生命環境学部

#### 【出題のねらい】

昨今、インターネットを含むいわゆるITの急速な発展とともに、国際社会において、英語は専攻分野を問わず、コミュニケーションの手段としてますます重要な機能を担ってきています。したがって、どの分野に進むにしても、大学で高度な英語の運用能力・発信力を身につけることが要請されています。このような観点から、一般入試二次試験（前期日程）の英語は全学共通の問題を出しています。大学での勉学に必要な基本的な英語力を計るためです。とくべつ難解な問題は出していませんが、高等学校までに修得する英語の教科内容を万遍なく理解していれば解ける問題です。

#### 【受験生へのアドバイス】

出題形式は、記述式の問題が中心で、全文または部分和訳および内容把握の英文読解問題が3題程度、和文英訳の問題が1題です。

英文和訳、内容理解の問題では、英語の文構造を正確につかみ、文脈にふさわしい単語の意味を的確に選択し、英文の内容を日本語らしい表現に置き換えるようにしてください。そのためには、豊富な語彙と文法の知識が必要不可欠です。英作文で重要なことは、日本語の意味内容を、自然な英語で表現することで、単なる直訳では自然な英語にはなりません。正しい綴り字で書くことが求められるのは言うまでもありません。

いずれの問題も、間に合わせの受験対策で解ける問題ではありません。常日頃から、話し言葉、書き言葉を問わず、英語に十分に触れて、英語の直観を養っておくことが肝要です。

また、日本語、英語ともに文字は丁寧かつ正確に、伝えたい内容が読み手に分かるように書いてください。

### ▶ 国 語

文学部

公共政策学部

#### 【出題のねらいと、受験生へのアドバイス】

国語はすべての学習・研究の基本となる科目です。大学で学ぶためには、言語表現の内容を論理の道筋に沿って理解する力と、自分の考えを適切に表現する力を十分に身につけていることが欠かせません。国語の試験はその力の程度を把握するために行います。

「現代文」の問題では、その理解力と表現力が最も重視されます。問題文の内容について、筆者の使用している言葉の意味を正確に理解した上で、文脈を把握できているかどうかを問う設問が多くなります。解答に際しては、問題文の言葉をそのまま使うのではなく、自分自身の言葉で的確に表現できるようにしてください。借り物の言葉しか使えないのでは、理解していることにはなりません。

「古文」では、文章の筋道や物語の展開などを把握するために、省略されがちな動作の主体を読みとることが大事です。「かの女」などの代名詞や「少将」などの官職で表される人物が誰であるかもつかまねばなりません。また文の組み立ての基本である文法や語法についての知識を身につける事が大切です。古典語は現代語とは意味の異なる場合が多いのですが、基本の意味をよく理解しておけば、場面・文脈によって訳し方がおのずから異なってくることもわかります。現代語に訳した場合、自然な表現になっているかにも注意してください。和歌の約束事などの基本事項や時代背景を理解しておくことも必要です。

「漢文」でも、疑問や反語、二重否定といった語法の特徴をよく理解した上で、全体として何を言おうとしているかを読みとることです。部分的には意味がわかっても、文章全体の方向を読み違えると、結局全く理解できていないことになってしまいます。現代語に訳してみた時、それが不自然であれば、それは解釈が間違っているということです。全体を論理の通った文章として理解することに努めてください。

そして最後に、解答を書く文字は、読み間違えられないように丁寧に。皆さんの実力が十分伝わるように心がけてください。



## ▶ 日本史

文学部

## 【出題のねらい】

原始・古代から近・現代に至るまでの範囲から、政治・経済・文化など広い分野にわたって問題を出題しています。歴史の流れやできごとの背景を考える力を重視し、設問においても大きな流れが捉えられるように工夫をしています。歴史の根拠となる史資料に対する理解も重視しています。また、歴史学科受験生を対象とした記述式の問題では、歴史事実の的確な把握のみでなく、それぞれの事実を有機的に関連づけて、鳥瞰しつつ、それらを適切に表現するという点も評価の対象としています。

## 【受験生へのアドバイス】

特定の時代や分野に偏ることなく、日本史全体に目を配って勉強を進めることが大切です。そして、単なる歴史用語の丸暗記ではなく、歴史的なできごとの因果関係や背景について理解を深め、大きな流れとして歴史を捉えることを推奨します。また記述にあたっては正確な表記・表現ができることも重視しており、緻密で丁寧な勉強を心がけるようにしてください。

## ▶ 世界史

文学部

## 【出題のねらい】

教科書で学習した内容・範囲を中心に、世界各地の歴史を時代、地域にかたよらず、広い範囲から出題しています。教科書の内容をしっかりと学習しておけば十分対応できる、オーソドックスな出題内容・形式です。

## 【受験生へのアドバイス】

出題形式は、記述式と論述式を併用しています。

記述式の問題は、歴史的な事件や過去の政治・経済の諸制度、年代や地域、活躍した人物などについて受験生がどこまで正確な基礎知識を持っているかを把握することを意図しています。以上のような歴史的諸事項については、教科書に出ているものを中心に、しっかり理解して覚え、表記できるようにしましょう。

論述式の問題は、特定の地域・時代に関する歴史的な事象について、その歴史的変化・推移、因果関係を受験生がどれほど正確に理解しているか、またそれを明快な文章で説明できるかを把握することを、意図しています。歴史的な事件や事物、制度について大局的な観点から歴史的意義や展開過程を説明させるような出題が多くなっています。関連する人物や年代を含めよく整理して、要点を押さえて説明できるように学習しておいてください。

## 平成23年度一般選抜試験合格者成績（1）

## 文学部

学 科	日 程	合格者数 (人)	合 計 点 (点)			
			最 高 点	最 低 点	平 均 点	配 点
日本・中国文学科	前期	25	895.4	774.0	822.2	1200
	後期	4	675.2	579.6	608.4	800
欧米言語文化学科	前期	26	895.6	786.0	823.2	1200
	後期	4	472.3	424.9	446.3	650
歴 史 学 科	前期	30	998.8	895.1	938.3	1300
	後期	13	677.4	627.8	652.6	800

センター試験と2次試験の総合点による判定です。  
公共政策学部はP14、生命環境学部はP15に掲載しています。

## ▶ 生 物

生命環境学部

## 【内容と形式】

生物Ⅰと生物Ⅱの遺伝子、細胞、個体（植物と動物）、そして生態にかんする全分野から幅広く出題されます。論述問題、計算問題、穴埋め問題、さらに図表などのデータを読み解き解答する問題など、多彩な問題が出題されます。

## 【出題者からのコメント】

全範囲について基本的なことがらを確実に理解しておくことが大切です。重要用語の意味の暗記だけにとどまることなく、教科書や副読本をじっくり勉強し、その用語の生物界における意義をしっかりと理解することが重要です。さらに、単に生物学上の意義だけでなく、一般社会でも話題となっていることがらもあります。常々科学全般について関心を持ち続けることが大切です。問題は様々な形式で出題されますので、重要事項を覚えるだけでなく、図表の解析や計算問題の練習を積み、実験・調査の方法なども理解しておくことが大切です。論述問題については、決められた字数内で要点を押さえた解答文を書く能力が必要となります。

## 【出題方針】

生物に関する幅広い知識を身につけているかを確認するとともに、文章や図表を解釈する能力も評価します。また、論述問題により、限られた字数の中での確に表現する能力も重視しています。

## ▶ 化 学

生命環境学部

## 【出題方針と内容】

生命環境学部への入学後は、多様な専門分野に分かれて学ぶこととなりますが、化学は多くの分野で重要な基礎の一つとなります。本学入学後に学修する大学レベルの化学を理解するための基礎となるのが高校で学ぶ化学です。そのため入試問題の出題方針として、高校で学ぶ化学の知識が身に付いているかどうかを確認することを重要な視点としています。

出題内容は、化学Ⅰと化学Ⅱの全範囲から偏りのないように出題するようにしています。化学Ⅰでは、物質の構成、物質の種類と性質、物質の変化、化学Ⅱでは、物質の構造と化学平衡、生活と物質、生命と物質の各項目から重複しないようにしています。また、化学Ⅱの課題研究や選択内容などについては、全ての受験生の不利にならないように配慮しています。また、知識の正確さや思考力を問うため、表やグラフ、実験装置の図を使った問題もしばしば出題されています。

## 【出題者からのコメント】

全ての内容について基本的な内容を確実に身に付けておくことが重要です。無機物質、有機化合物を問わず物質の構造と性質の関係を理解しておいてください。教科書に記載されている化学反応は知っていることを前提として出題しますので、正しく書けるようにしておきましょう。計算問題では、公式への当てはめや機械的な計算を練習するのではなく、公式の本質を理解することが大切です。また、計算問題では最終的な計算値だけでなく、途中の論理展開や計算過程も大切です。これらを要領良く解答用紙に記述することが非常に重要です。表を扱う出題の場合、数値の意味、単位を確認するクセをつけておきましょう。グラフを扱う出題の場合の横軸・縦軸の意味、単位についても同様です。実験装置の図を扱う出題では、各器具の役割と実際の物質の動きをよく考えて解答するようにしてください。化学では実験が何より重要です。高校で実験をする機会があれば積極的に取り組み、原理の理解、現象の観察、理論的な考察をしっかりと行うことが大切です。

## 平成23年度一般選抜試験合格者成績（2）

## 公共政策学部

学 科	日 程	合格者数 (人)	合 計 点 (点)			
			最 高 点	最 低 点	平 均 点	配 点
公 共 政 策 学 科	前 期	38	744.2	680.6	699.9	1000
	後 期	10	824.3	758.1	771.4	1000
福 祉 社 会 学 科	前 期	35	742.3	644.6	678.3	1000
	後 期	9	785.2	731.9	752.0	1000

センター試験と2次試験の総合点による判定です。  
文学部はP13、生命環境学部はP15に掲載しています。

## ▶ 物 理

生命環境学部

### 【内容と形式】

物理現象の基本的な内容を問う問題から応用問題までが出題されます。問題のレベルは多くは教科書を十分に学習していれば解くことが出来る標準的な問題です。ほぼ全ての問題は答だけではなく、考え方や計算過程を記述する問題となっています。

### 【出題者からのコメント】

教科書を良く学び、多くの練習問題を解いて、基礎的レベルから標準的レベルまでの問題に正確に答えられるようにしましょう。応用問題も物理現象を十分に理解していれば、解けるレベルの問題です。公式を丸暗記するのではなく、物理法則の内容と現象をともに理解するように努めましょう。

採点では考え方や計算過程を丁寧に見ます。説明のない公式や答だけの解答では不十分です。答えにいたる経過がはっきりと分かるように使う文字の定義や使う式の説明を丁寧に書くように心掛けましょう。グラフで答える問題では、座標軸や目盛りを適切に書けるよう練習をしましょう。

### 【出題方針】

問題毎に、物理現象の基本的な内容を問う問題から応用問題までを適度にバランスして出題しています。出題範囲の物理現象の基礎的な事項について知識の正確さを問うとともに、関連する物理現象への標準的な応用能力を問うように出題しています。

## ▶ 数 学

生命環境学部

### 【内容と形式】

生命分子化学科と環境・情報科学科は、毎年大問をそれぞれ3題と4題ずつ課しています。大問は幾つかの小問から出来ていて、すべて記述式としているため、最終の解答が正解であるかだけでなく、解答に至る途中の過程も採点対象としています。小問は、段階的に答えを導くものが多く、理解を積み上げて解答できるようにしています。

### 【出題者からのコメント】

基本的な内容について確実な理解が出来ているかを試すと同時に、論理的な思考で解答されているかを評価します。従ってステップを踏んで、解答が論理的に正しく行われていけば部分点を与えています。逆に、数式の羅列をしただけの答え方では、論理的な解答とは言えません。全体を通して計算量は多めで、しっかりした計算力を要求しています。不注意な計算ミスには充分注意してください。

### 【出題方針】

問題のレベルは、生命分子化学科では、基本的には教科書の章末問題程度を基準に考えています。環境・情報科学科では、教科書の章末問題程度が、それよりやや高めに設定し、数学Ⅲ、数学Cに該当する問題を適度に多めに出版する場合もあります。

## 平成23年度一般選抜試験合格者成績（3）

### 生命環境学部

学 科	日 程	合格者数 (人)	合 計 点 (点)			
			最 高 点	最 低 点	平 均 点	配 点
生命分子化学科	前期	26	1310.6	1081.8	1151.0	1700
	後期*	8	870.9	792.2	833.1	1000
農学生命科学科	前期	34	1076.6	938.4	969.3	1400
	後期*	6	551.0	502.8	520.0	600
食 保 健 学 科	前期	20	1136.8	1004.0	1049.7	1500
環 境 ・ 情 報 学 科	前期	22	840.8	638.4	739.4	1400
環 境 デ ザ イ ン 学 科	前期	28	612.9	544.9	570.1	800
	後期	7	567.8	522.4	546.9	800
森 林 学 科	前期	26	981.5	870.3	921.0	1400
	後期*	6	802.0	738.2	767.0	900

\*は、2次試験を実施しません。\*以外は、センター試験と2次試験の総合点による判定です。文学部はP13、公共政策学部はP14に掲載しています。

# 本学の就職活動支援

学務課学生担当

## 一 就職活動 ～夢と熱意をもって～

近年、我が国の雇用情勢は、依然、厳しい状況にありますが、文部科学省による大学設置基準改正を踏まえ、本学においては今年度からキャリア育成プログラムを開始することとなりました。併せて、本年4月に設置しましたキャリアサポートセンターで提供しているメニューを次にご紹介します。

- ①センターの教職員やキャリアカウンセラーがキャリア相談（進路・就職相談）に応じます。
- ②センターの教職員がキャリア育成プログラムの履修相談に応じます。
- ③インターンシップをサポートします。
- ④就職講座を開きます。
- ⑤企業による企業研究セミナーを学内で開きます。
- ⑥求人・会社説明会など、就職活動に必要な情報を揃えています。
- ⑦進路・就職関連の図書を揃え、貸し出しをしています。

就職活動は「自分の夢探しの第一歩」と言われます。また、優秀な人材確保は企業にとっての最重要課題ともなっています。

本学では、就職活動をする学生を励まし、支援するため、毎年様々な企画に取り組んでいます。

## 一 就職活動をサポート

就職活動においては、エントリーシートの書き方、面接の受け方などの基礎的なスキルを身につけるとともに、インターネット、企業情報誌、会社訪問等により様々な情報を得ていくことも必要です。

キャリアサポートセンターでは、学生の皆さんが就職活動を円滑に進められるよう、以下の就職支援活動を行っています。

### 各種セミナー

- 就職講座（右の表は昨年度開催内容）
- 公務員・教員採用試験説明会
- 学内企業研究セミナー

### トレーニング

- 面接対策講座
- グループディスカッション対策講座

### きめ細かな対応

- 就職相談・エントリーシート相談
- 就職情報提供
- 大学推薦状の発行
- 就職担当教員を通じての情報提供
- OB・OG訪問のための相談

次に、本学における平成22年度卒業生の就職状況の概要をご紹介します。

- ①就職希望者の就職率は、学部生:87.4%、大学院生:88.3%で大学院生は平成14年度に次ぐ高水準。学部生は前年度を少し上回る。
- ②男女別では、女子学生は学部・大学院とも前年度を上回っており、特に、大学院では就職率が大幅に増加。男子学生は学部生は前年度を上回ることができたが、大学院生は前年度を下回る結果。
- ③就職先は、民間が78.8%、公務員・教員が20.9%、その他0.4%。

## 主な就職先（平成23年3月卒業生）

タキイ種苗、旭化成ホームズ、大成建設、タマホーム、日清医療食品、森永乳業、進々堂、井筒八ツ橋、オリエンタルベーカーリー、山崎製パン、エバラ食品工業、白鶴、丸大食品、江崎グリコ、日本写真印刷、大日本印刷、明治図書出版、大正製薬、大日本住友製薬、コニシ、東和薬品、カネカ、資生堂、アース製薬、大塚製薬、ノーリツ、京セラ、日本電産、ニトリ、京都放送、西日本旅客鉄道、神戸電鉄、佐川急便、楽天、ローソン、大丸松坂屋百貨店、りそな銀行、京都銀行、京都中央信用金庫、滋賀銀行、パソナ、京都第一赤十字病院、郵便局、JAたじま、大阪国税局、大阪労働局、神戸家庭裁判所、京都府庁、奈良県庁、滋賀県庁、京都市役所、宇治市役所、社会福祉法人

## ■平成22年度に行った就職講座

月 日	内 容
① 8/5	オリエンテーション 講演「自分エンジンを探せ!そして活かす夏へ」 講師：キャリアコンサルタント 本田勝裕 氏
② 10/7	講演「インターネット活用法」 講師：(株)毎日コミュニケーションズ 高橋誠人 氏
③ 10/14	講演「業界研究・企業研究の進め方」 講師：(株)学情 山本 亮 氏
④ 10/21	就職模擬試験 (株)学研メディコン
⑤ 10/28	講演「エントリーシートの書き方」 講師：(株)ディスコ 関西支社 山砥敏宏 氏
⑥ 11/4	「就活に必要なビジネスマナー(1)」 講師：学校法人 大和学園 山本清美 氏
⑦ 11/11	「就活に必要なビジネスマナー(2)」 講師：学校法人 大和学園 山本清美 氏
⑧ 11/18	講演「面接について」 講師：(株)ミックスジャパン 石田秀朗 氏
⑨ 12/2	就職活動体験報告会 報告者：各学科(専攻)
⑩ 12/9	就職模擬試験 (株)学研メディコン

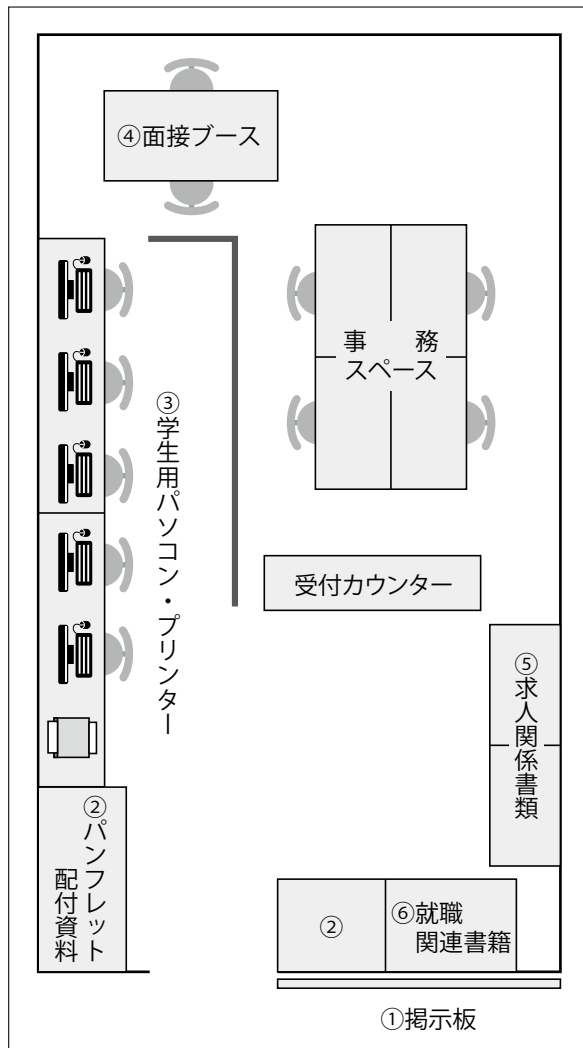
企業研究 セミナー	11/25・26	企業研究セミナー in 京都府立大学 (業界を代表する23社参加)
--------------	----------	---

面接講座	1/18・2/18	グループ面接講座 就活ポイントセミナー 講師：エン・ジャパン(株) ほか
------	-----------	---

\*その他にも、学科(専攻)別の企画を実施



## キャリアサポートセンター（本館・合同講義室棟 1 階）



### ① 掲示板

キャリアサポートセンター入口横の掲示板では、キャリア育成プログラムやキャリアサポートセンターの行事案内、会社説明会の情報などを掲示しています。

また、合同講義室棟玄関ロビーの掲示板では、各地域で開催されるセミナーのポスターも掲示しています。

### ② パンフレット、配付資料

就職情報サイトの登録はがき、公務員・教員の採用試験案内、大学外で開催される就職イベント、ハローワークの就職相談などの案内があります。

学生の皆さんは、自由に持ち帰ることができます。

### ③ 学生用パソコン・プリンター

キャリアポートフォリオの作成にも利用することができます。

就職先を検討するには、ホームページで会社概要や施設案内などを研究しておくことが大切です。

パソコンを利用するには、受付カウンターで申し込んでください。

### ④ 面談ブース

進路に関する相談は、随時受け付けています。1回生からの利用も可能です。履歴書やエントリーシートの書き方、面接試験対策など就職活動で困ったことがあれば、気軽にお尋ねください。

### ⑤ 求人関係書類

民間企業、社会福祉法人など、採用条件や募集職種、給与、勤務地などの情報が記載されている「求人票」を閲覧することができます。この「求人票」は、業種ごとに分類されています。インターネットによる求人情報検索【Unicareer】も活用してください。

### ⑥ 就職関連書籍

就職活動のすすめ方や、業界研究本、筆記試験対策などの書籍を閲覧することができます。書籍の貸出も行っています。

学外で実施されているインターンシップやボランティアの情報も揃えています。

## ■ 担当教員からのメッセージ ■

教養教育／キャリアサポートセンター 特任准教授 **辻田 祐純** (つじた ひろずみ)

皆さんは大学4年間に成し遂げたい目標をお持ちですか。あるいは、人生を通して達成したいことはありますか。大学での授業の一つひとつが将来の夢とどのようにつながって行くのか。自分にとって働くことはどんな意味を持つのか。このことを考え始める、考えをもっと広げるお手伝いをします。

大学へ入った瞬間から、大学生活にスムーズになじめるように、また、卒業に当たっては納得したうえで自分の将来を決めて卒業できるように、入口から出口までの伴走者として、学生の皆さんをしっかりと支えてまいります。

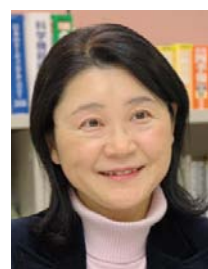


教養教育／キャリアサポートセンター 特任講師 **小山 裕子** (こやま ゆうこ)

皆さんは大学における学びと大学生活をどのようなものにしたかとお考えですか。

変化の激しい現代社会においては、大学で獲得できる高度な専門知識を基盤に、自ら考え、主体的に行動するキャリア自律した人材が求められています。このようなキャリア自律は、毎日の授業や部活動・サークル活動など日々の充実した大学生活の積み重ねの中でこそ育まれます。

キャリア入門講座では、大学の学びと社会の接点をテーマに、自分自身について考え、社会で活躍されている方のお話から、働くことの意味を考えます。この授業を通して、学びを中心とした大学生活を充実させるよう、学生のモチベーションを高め、目標設定を行う支援を行っていきたくと考えています。



# キャンパスライフ

## 在学生の声

### 文学部

欧米言語文化学科 4回生 N. S

欧米言語文化学科は耳慣れない学科だと思いますが、ここでは文学、英語学、翻訳文化やそのほか映画や雑誌といった様々な欧米の文化が学べます。1・2回生のうちにそういった数ある分野をあれこれかじってみて、心惹かれたものを選んでいくことになります。

3・4回生になってゼミに入れば、なんといっても京都府立大のちんまりしてて密度が濃いという特徴が最大限に生きて、先生や学生同士の親しいかわりの中で興味のある研究に集中できます。

また、サークル活動やアルバイトをたのしむ時間も十分あります。私自身は今のところホテルの受付をしているだけですが、とてもいい経験になっています。私は他県からきているので、府大もバイト先も、京都を知り感じるためにはうってつけの環境だと感じています。

大学では自分でやりたいことを決める機会が増えますが、府大はその時々を考える時間と選択肢を十分に提供してくれるところだと思います。

### 公共政策学部

公共政策学科 3回生 U. N

大学生活でしかできないことに貪欲になって、過ごされることをお勧めします。大学生になると、それまでの、やらなければならない事と時間に追われる生活から、自分の時間を自由につかえて選べる生活に変わります。やらなければならないことよりも、やりたいことを優先することが可能な、かけがえのない期間です。

興味があることを学ぶこと、部活動に取り組み目標を達成するために努力すること、アルバイトを通して社会勉強をすること、旅行に行つてそこでしか感じられないものを感じることに、沢山の人と出会って様々な価値観に触れること、疲れ果てるまで遊び倒すことなど、何にでもいいから、ちょっと無理をしても取り組むことです。

今は不安定な世の中なので、就活など、将来への準備をすることが早い時期から必要かもしれません。しかし、その時にしか経験できないことを大切にしてください。今は今しかない。時間には限りがあることを忘れないでください。

自分がやりたいことを楽しみながらやることは、自分自身の強みになります。それが自分の自信にもなり、将来への準備につながると思います。もちろん、勉強もしましょうね。(私がすべきことなんですけどね。笑) 沢山の本を読み、柔らかな精神が新鮮な影響を受けることも、今しかできないことです。

偉そうなこと言っちゃいましたが、自由な時間に流されそうになる時、将来の自分に不安になる時、いつも私自身に言いかせていることです。皆さんの大学生活がより充実したものになることをお祈りしています。

### 生命環境学部

生命分子化学科 3回生 U. M

近頃、ニュースや新聞で日本人化学者の活躍や化学に関する様々な研究が取り上げられ、注目を集めています。私がこの生命分子化学科を希望した理由は、注目されている“化学”についてより広く深く学びたいと思ったからです。現に、私たちが学んでいる“化学”は生物や物理と密接に関係した学問であるので、とても興味深く学びがいがあると私は感じています。

この学科は、1学年30数名と少人数です。理系の学科は女子が少ないと思われがちですが、私の学年は女子が半分以上を占めています。また、学科教員との距離も近く、専門的な話はもちろんのこと、プライベートについても気軽に話せるので、すぐ打ち解けることができます。学科内だけでなく、違う学科の人とも分け隔てなく接することができるのも、府大の良いところでもあります。

確かに、府大は小さくてちっぽけな大学ではあるけれど、その分いろいろな魅力を持った大学だと思うので、ぜひ府大に来てその魅力を感じてください。

### 生命環境学部

食保健学科 3回生 M. M

食保健学科は府大の中でも少人数で、女子が多いことも有り、みんなでわいわいしています。今春から3回生になり、実習や実験がはじまったことで、今までゆったり送っていた大学生活ががらりと変わりました。でもそんな中だからこそ、今まで以上に学科のみんなと話し合い、協力し合って、忙しいながらも楽しく頑張っています。

私はバドミントン部に所属しています。クラブ・サークルに所属して学科以外でのコミュニティを作ると、より大学生活を楽しめると思います。クラブ・サークルの数は多くはないですが、どこに所属してもきっと深い人間関係が築けると思います。私も一生付き合っていきたい仲間と出会えました。

大学生が一番自由だと思います。こんなに自由で良いのかってくらいに。だからこそ「やりたい」と思ったらすぐに実行してみたら良いと思います。今しかできないことを楽しみましょう！勉強・部活・バイト・・・忙しい日々ですが、様々な環境でたくさんの人と出会い、たくさんの人と笑いあえてとてもとても幸せです。京都府立大学に入学して本当に良かったと心から思います！

## クラブ・サークル紹介

### ●硬式野球部

みなさんこんにちは。硬式野球部です。

硬式野球部は、現在、京滋大学野球連盟Ⅱ部リーグに所属し、部員14人・マネージャー4人で活動しています。京都府立大学が小規模校で、女子生徒が多いことにより、部員数が少なく、研究・実験や就職活動で練習を休む部員がいる時は人数が9人を割ってしまうこともあります。しかし、意識を高く持ち、Ⅱ部リーグで優勝し、入れ替え戦に勝利してⅠ部へ昇格することを目指して日々の練習に励んでいます。



また、先輩、後輩の仲も良く、監督・コーチも親切で面白い人たちばかりで非常に雰囲気の良いクラブというのが硬式野球部の特徴です。ですが、だからといって、楽しいことばかりでもありません。体育会のクラブなので、リーグ期間中は練習も厳しく、非常にハードです。それでも部員の多くがへこたれずに続けているのは、信頼できる仲間がいるからだと思います。一緒に汗を流してきた仲間というのは想像以上にすごいものであり、切磋琢磨し、互いに励ましあいながら厳しい練習に取り組んでいます。ここで出会えた仲間は、大学4年間はもちろん、社会に出てからもつきあっていける親友だと思います。大学生活は高校までと比べて、自由な時間が多くなります。その自由に過ごせる時間をどのように使うか、ということで大学生活は大きく変わります。クラブやサークルに入れば、一生つきあっていける素晴らしい仲間に出会えることでしょう。

素晴らしい仲間と充実した大学生活を送ってください。そして、野球を楽しみ、充実した大学生活を送りたい方は、一度、硬式野球部に来てみてください。大学生活を終えて振り返ったときに、硬式野球部で過ごしたことによって得たかけがえのないものがきっとたくさんあると思います。

(文：K. K 硬式野球部 主将 歴史学科 3年生)

### ●環境サークル エコプロジェクト

こんにちは！環境サークルエコプロジェクトです。「環境問題に興味がある、何かエコな活動をしてみたい。でも何をしたら良いかわからない…」という人は多いのではないのでしょうか？私たちエコプロは、身近なことからできるエコは何かということを皆で考え、楽しく、時に真剣に活動に取り組んでいます。



一年を通しての活動としてはエコキャップ・牛乳キャップの回収を行っており、そうした活動をみんなに見てもらい協力してもらうことで、少しでも多くの方が環境について意識するきっかけになればと思っています。夏にはリサイクル工場の見学とお楽しみ企画でレジャー施設に行くなど、楽しいイベントもします。工場見学では自分たちが集めたキャップがどうなるのか、京都中から出たゴミがどのようにリサイクルされるのかなどを目の前で見せてもらい、たいへん勉強になりました。

また、エコプロの伝統的な活動として学園祭でリユース食器を使う『洗い皿』をしています。昨年はこの『洗い皿』が本当に環境にいいのかという疑問から環境負荷調査に乗り出し、実際に数値で検証もしました。他にも古本市や古着回収など新しい活動も次々と行っており、メンバーの「やってみたい」という提案を積極的に取り入れているのがエコプロの特徴です。学内での活動の他にも他団体との交流を深めるために学外での活動にも参加し、昨年は鴨川での清掃やイベントでのゴミ拾いなどをしました。学外ではエコ活動が目的ではありませんが、いろいろな人と出会い様々なことを知ることで、自分自身が成長するきっかけになります。エコに取り組みつつ、人との繋がり大切さを実感できる貴重な機会です。

エコだ、ボランティアだと肩ひじを張ることなく皆が自然に活動に取り組んでおり、とても和やかな雰囲気のサークルです。環境に興味がある方もない方も、ぜひ一度エコプロに遊びに来てください。部員一同心からお待ちしております！

(文：Y. A エコプロジェクト 代表 福祉社会学科 3年生)



## 新入生歓迎夜祭 開催

京都府立大学では毎年4月に新入生歓迎夜祭というお祭りを開催しています。

このお祭りは新入生に心からの歓迎の意と大学の雰囲気を与え、また、上回生との交流を持ってもらい、より早く大学生活になじんでもらう上で毎年欠かせない行事となっています。

お祭りでは構内に部やサークルによる模擬店が並び、焼きそばやおでん、変わったところではハンバーガーや筍ご飯など様々な食べ物が売られています。また施設内では美術部や写真部の展示会、ギターマンドリンクラブなど音楽系の部による演奏会、ダンスカンパニーによるダンスの披露、映画研究会による映画上映などが行われており各団体の工夫を凝らした催しを見ることができます。

祭り期間中は実行委員と出演者が資材を組み立てた手作りのステージが特設され、ステージ上で様々な演目がされています。軽音楽部やJAZZ研究会のコンサートをはじめ、フラガールや漫才サークルによるお笑いライブなど各部、サークルがその特色を活かした個性的な出し物を行っています。今年は、あいにくの雨でしたが、



ステージの前には傘をさした観客が多数詰めかけ、大変な盛り上がりを見せていました。

また、体育館に新入生同士の交流の場を設けたり、来場してくれた方に参加してもらう企画として、大学構内に置かれたチェックポイントを回ってもらうスタンプラリーや、新入生と上回生が優勝賞品の焼肉を目指してクイズやゲームに挑戦する企画などがあり、新入生だけではなく、在校生も一緒に楽しんでもらえる祭りになっています。今年は、夜まで祭りを楽しんでくれた来場者の方に豚汁の炊き出しを行うとともに、東日本

大震災の被災地復興支援のための募金箱設置も行いました。

このように新歓夜祭では毎年様々な企画が行われ、たくさんの新入生が参加してくれています。私達実行委員会も新入生歓迎夜祭をより良いものとし、来場者に楽しんでいただけるよう毎回創意工夫をし、努力しております。ぜひ11月に開催される学園祭「流木祭」に来場してその雰囲気を味わっていただけたらと思います。



(文：W. E 流木祭・新歓夜祭実行委員会委員長 公共政策学科3回生)

## トピックス

### ☆東日本大震災被災者は入学考査料が減免

東日本大震災で学資負担者が被害を受けた場合、入学考査料が減免できるよう「規程改正」を5月19日に行いました。

入学考査料は、学部が17,000円、大学院が30,000円です。

### ☆東日本大震災被災者の入学料が減免

この4月に入学した学生の実家が、東日本大震災で被害を受けていたため、入学料を減免しました。



## 卒業生の声



### 生きる力を得、喜びを知った学び

文学部史学科 平成21年3月卒業

文学研究科史学専攻 平成23年3月博士前期課程修了 U. R

(敬和学園高等学校(新潟県)勤務)

希望と期待を胸に、文学部史学科(現歴史学科)に入学した日から早くも6年。学部、大学院にて言葉では言い尽くせない濃密な時を刻んできました。小さいころから歴史好きだった私にとって、史学科での学びはすべてが興味深く、新しい発見で驚きに満ちていました。史学科ではまず「歴史とは何か」ということを様々な講義を通して徹底的に学びました。様々な専門に携わる先生方が、それぞれの哲学をもって語られる歴史学は魅力に満ち溢れていました。同時に、史学科では1回生時より史料講読など専門的な学びをすることができ、歴史全般について深い勉強をすることができました。私が史学科で学んだ最も重要なことは「史料」をとにかく第一に扱うことです。歴史学を修めるにあたっては当然のことですが、なかなか自然と身につくものでもありません。1回生時分から徹底的に史料と向き合う事ができたことは社会に出た今も大きな財産です。高校の教壇に立つ身となったいま、日本史の授業では高校生にも史料と対峙してもらっています。教科書の字面を学ぶのではなく、史料から何を読みとるか。府立大学の史学科で学んだからこそ展開することのできる授業の楽しさを実感しています。

府立大学は小さな大学ですが大きな大学に勝るメリットはたくさんあります。一番は少人数教育です。大学・大学院を通して、先生方との距離が近く、講義や研究の密度の濃さはもちろん、学科旅行やゼミ旅行など、講義以外で楽しい時間をもつことができました。学部の後半や大学院で、何度も挫折しそうになった私ですが、その度に指導教官の先生は支えて下さり、研究を進めていくことができました。静かなキャンパスのなかで、ときに心を静めて黙考し、心の余裕をもった人生の歩み方というものも見つめることができたように思われます。大学での生活は、長い人生のなかでのわずかなひと時です。しかし、そのひと時が人生に与える影響ははかりしれません。北山の地で恩師と学友に恵まれ、最高の6年間を過ごした記憶と経験を糧にこれからを歩みます。

### 現在の仕事の状況や府大の思い出について

福祉社会学部福祉社会学科 平成22年3月卒業 I. S

現在、私は八幡市役所で生活保護のケースワーカーをしています。八幡市役所は福祉職の枠を設け職員を採用しています(社会福祉士の資格を有していることが受験要件)。大学卒業後、1年間は他の公務員として働いていたのですが、福祉を専門とした行政の仕事がしたいと思い、再度試験を受け、平成23年の4月から現在の仕事をしています。今年福祉職で採用された職員は、障害福祉課、高齢介護課、保護課、家庭児童相談室に配置され、ケースワーカーとして働いています。

生活保護と聞くと大変そうなイメージがあると思います。実際、なかなか一筋縄では行かない保護受給者の方もいらっしゃいますが、不意の事故や怪我によって働けなくなったりした上に、身近に助けを求められる親族がいなかったりという状況で保護を受けている方もいます。病気や怪我が治り、再び仕事を始め生活保護から自立される方もいます。八幡市役所の保護課には12人のケースワーカーと就労支援員、相談員(生活保護を受けたい等の最初の相談を受ける)、事務担当者などがいます。ケースワーカーはそれぞれ担当する地域が割り振られ、1人あたり約80世帯を担当しています。1月に20件程度ずつ家庭訪問をして、最近の状況等を伺っています。

最初は慣れないことも多く、自分にこの仕事ができるのか不安でしたが、職員の方々も協力的で明るい方が多く、困った時やちょっとしたことも相談しやすく、手助けして下さるので、とても働きやすいです。もちろん大変なことも多いですが、大学で学んだことを大いに生かすことができ、やりがいもあるので、今では転職して良かったなと思っています。

京都府立大学は教授とも距離が近く、いろいろなことを相談しやすいうえ、学生も一生懸命、真摯に物事に取り組む人が多く、お互いが真剣に切磋琢磨できる環境だと思います。困った時には教授や信頼できる仲間に相談し、時には卒業した先輩も紹介してもらってください。先輩たちも快く手助けしてくれるでしょう。小さな大学だけに、絆は強いです。

京都府立大学の学生が、今後、さまざまな分野で活躍することを一卒業生として期待するとともに、自分自身も京都府立大学出身者として頑張っていきたいと思っています。

## 病院栄養士としての第一歩

人間環境学部食保健学科 平成23年3月卒業 M. A

私は今春より、京都第一赤十字病院の栄養課で働いています。栄養課では患者様の病態に合わせた食事の提供や、栄養指導などの栄養管理を行っています。

大学時代は、食保健学科健康科学研究室に所属し、医療チームで行う栄養管理に関する調査や慢性腎臓病の患者様に対する栄養指導の効果についての研究を行いました。患者様の病態の進行抑制と改善を栄養の面から支えたいという思いがあり、病院の管理栄養士を志望しました。

現在の仕事は主に給食管理業務です。患者様の病態やアレルギーなどに対応した個別の献立作成や、栄養状態が良くない患者様に対して少しでも食事を食べて頂けるような工夫を行っています。栄養指導については、先輩方の栄養指導を見学し、勉強しているところです。まだまだ勉強中の事が多く、先輩方に支えて頂きながら毎日の業務を必死にこなしています。今後、様々な病態の患者様の食事や栄養の管理ができるように頑張っていきたいです。



## 大学生活と現在の仕事

農学部生物生産科学科 平成16年3月卒業 I. M

私は現在、(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農林水産省所管)の果樹研究所で、カンキツの栽培生理に関する研究を行っています。具体的には、おいしい果実を毎年安定して生産する栽培技術の開発や、果樹研究所で育成した品種(デコポン、清見、せとか、はるみ等)の栽培上の問題点を改善し、よりよい栽培技術を開発する等の研究を行っています。また、当研究所には主に高卒者を対象とした研修生制度があり、研修生は寮生活を営みながら2年間かけてカンキツの栽培方法を学んでいます。その研修生に授業や圃場実習を行い、次世代を担う農家の育成を行っています。

大学生の頃は、ワインブドウ園の地表面管理(ナギナタガヤを用いた草生栽培)と有用土壌微生物(VA菌根菌)について研究しました。よって、カンキツに関しては素人で、最初の三年間は右往左往しました。しかし、ブドウとカンキツ、その対象は違っても、土壌に関する知識や研究の進め方などの基礎的な部分は同じです。研究室で学んだことを土台にしながら日々の研究を進めています。

今から振り返って府大での生活のよかったところは、学科内の学生数が少ないことと、それに対して教員・職員数が多かったことです。特に3回生の後期から通い始めた精華町の附属農場では、教員・職員・院生・学部生の間の距離が近く、共同生活を送っている感覚でした。私は学部を卒業して一年の浪人を経て現在の職場に就職しましたが、このときの研究室での経験があったので、違和感なく研究生活に入ることができました。

私は大学に入る前からこの職業に就きたいと考えていたわけではなく、むしろその時その時に必要な選択を重ねて今に至ったというのが実情です。農学を学ぶきっかけも、食糧の生産現場を知らず、消費するだけの生活に疑問を持ち、漠然と農業に対する関心があったことに端を発します。結果として、農業という人の営みに欠かせない領域の一角に携わって本当に良かったと思っています。

※平成20年度から文学部史学科は文学部歴史学科に、福祉社会学部は公共政策学部に変更されました。

人間環境学部と農学部は統合されて、平成20年度から新たに生命環境学部が設置されました

# ニューフェース

平成23年4月着任の教員の紹介

公共政策学部 公共政策学科 講師 竹部 晴美 (たけべ はるみ)

<主な研究領域> アメリカ法・民事法

アメリカの民事訴訟手続におけるディスカバリー制度について研究しています。ディスカバリー制度とは、当事者間で当該事件に係わる証拠は全て開示し合うというもので、残念ながら日本にはこの制度はありません。私は、日本の民事紛争で当事者がより公平な裁判を受けることができるように証拠開示について改革したいと思い、この研究をしています。

授業を通じて学生の皆さんと社会で直面する問題を考え、互いに高め合う関係を作っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 教授 高野 和文 (たかの かずふみ)

<主な研究領域> 生体分子工学、生物物理、創晶工学

タンパク質の立体構造を決定し、生命現象を理解する研究(構造生物学、構造ゲノム科学)が世界中で精力的に行われています。私は、その立体構造だけでなく、「タンパク質が形をつくるということ」、例えば、フォールディング、安定性、アミロイド線維形成などに着目し、それらの物理化学的理解から生物学的意義を見出すことに取り組んでいます。さらに、これらの成果を利用した応用研究や、工学技術のバイオ応用を進め、異分野連携、ベンチャー起業、産学連携なども展開しています。



生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 教授 細矢 憲 (ほそや けん)

<主な研究領域> 高分子多孔体開発: 特に環境浄化材料や医療デバイス

東北大学・大学院環境科学研究科から4月1日に着任致しました。3月11日の未曾有の大震災を現地で経験し、電気などの動力を用いない、みじかな環境改善に取り組む意思を強く致しました。対象は生命の源とも言われる「水」。被災地でも利用可能な動力を用いない手のひらサイズの浄水システムの開発や、バクテリア、ウイルスを不活化する高分子材料の開発。その他、保水能力に優れた軽量人工土の開発や、免疫抑制剤を必要としない移植デバイス開発へのトライなど生命環境に関わる課題に取り組んで参りたいと考えております。



## イベント情報

**リカレント学習講座** どなたでも参加できる公開講座です

「映画で学ぶ20世紀ドイツの社会と暮らし」

担当 文学部欧米言語文化学科ドイツ言語文化教員  
及び共同研究員

場所 本学合同講義室棟

期間 9/17、9/24、10/1、10/8の各土曜日(全4回)

時間 各回 13:30~16:00

受講料 4,000円(テキスト代含む)



※詳しくは大学までお問い合わせください。

企画課: TEL. 075-703-5147 FAX. 075-703-5149 E-mail kikaku@kpu.ac.jp



## 教員奮闘記

### 地域に学び、地域と歩む

公共政策学部公共政策学科 青山 公三 教授

私は京都府立大学に来てまだ3年に満たない新米教員です。京都に来る前は、15年間ニューヨークのシンクタンクで仕事をしていました。15年間に調査で飛び回った都市は50都市に及びます。この経験を若い人たちに伝えたいと思っていましたが、縁あってこの府立大学の教壇に立つことになりました。

私が担当している授業の一つに「市民参加論」があります。これは1回生の新学期から開講している授業です。新入生の皆さんに、クラスメートと大いに議論してもらい、市民参加の模擬体験をしてもらう授業です。有名なハーバードのサンデル教授の白熱教室の熱っぽい議論に劣らない面白い議論が毎回展開されています。唯一劣るとするならば、私の能力くらいでしょうか(!?)

市民参加論では、全15回のうち、10回程度を市民参加に関わるテーマのワークショップをしています。皆さんの身近な問題から原発問題や国際問題に至るまで、あらゆる場面での市民参加を想定して議論を進めます。大きな選挙があるときは各政党のマニフェストを議論し模擬投票も行います。また私の米国での市民参加の体験や事例も紹介しています。社会の様々な問題に関し、問題意識を喚起し、クラスメートとのコミュニケーションが図れる良い機会になっていると思います。

もう一つ、大学院の授業の一環として3年前から実施している「地域協働オープンワークショップ」があります。このワークショップは、地域課題の解決に向け、府立大学の院生や学生、一般市民の皆さん、京都府、NPOの職員の皆さんが協働で地域課題の解決に取り組む新たな試みです。昨年度は2つのテーマ「北山街の活性化戦略」「福祉のまちづくりー左京区久多地区の里づくり」について、約1年間、具体的な地域への提案を検討しました。今年は北山地域の環境や地域文化をテーマにしています。

他にも授業やゼミを担当していますが、常に「地域に学び、地域とともに歩む」ことを心がけています。



市民参加論のディスカッション風景

### イベント情報

#### 京都府立大学 桜楓講座（秋の部）

どなたでも参加できる公開講座です

最近のトピックを交えながら、本学教員がそれぞれの専門分野について分かりやすく解説します。秋の部は文学部と生命環境科学研究科から2講座で開催。

Cコース 10/15（土）「都の変遷ー平安京に至るまでー」

文学部長 櫛木 謙周

Dコース 10/29（土）「植物ゲノムの謎を解く：光を食べる生き物たち」

生命環境科学研究科教授 小保方 潤一

時 間 両コースとも10:00～12:00

場 所 本学合同講義室棟

※詳しくは大学までお問い合わせください。

企画課：TEL.075-703-5147 FAX.075-703-5149 E-mail kikaku@kpu.ac.jp

府大広報 No.167 -入試特集号- 京都府立大学広報委員会 2011.7.23 発行

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL. 075-703-5904 FAX. 075-703-5149

Email kikaku@kpu.ac.jp